

原爆ドームを掘る

広島市こども文化科学館

主任学芸員 小林奈緒美

1 はじめに

2 史跡原爆ドームの経緯

- ・ 明治 44 年 (1911) 4 月 建設開始
- ・ 大正 3 年 (1914) 1 月 建築着手
- ・ 大正 4 年 (1915) 4 月 竣工 8 月 15 日開館式
「広島県物産陳列館」(その後広島県立商品陳列所、広島県産業奨励館)
- ・ 昭和 20 年 (1945) 8 月 6 日 原爆投下

- ・ 昭和 41 年 (1966) 広島市議会がドーム保存を決議
- ・ 昭和 42 年 (1967) 第 1 回保存工事
- ・ 平成 元年 (1989) 第 2 回保存工事

- ・ 平成 7 年 (1995) 6 月 27 日 文化財保護法に基づく史跡指定
- ・ 平成 8 年 (1996) 12 月 7 日 世界遺産一覧表に記載

3 保存工事について

4 史跡原爆ドーム現状維持工事に係る埋蔵文化財発掘調査

目的

被爆後の堆積状況や遺構の素材を確認し、1945年8月6日の被爆時の状態を保存することを全目的とする。

内容

劣化の原因となっている雨水の排水処理のための雨水枡・浸透枡及び排水管を地中に埋め込む工事を行う。

(1) 調査区について

- ①階段室
- ②玄関ホール
- ③玄関前

(2) 層序について

漆喰、炭、などの堆積について



<階段室>



<玄関前>

(3) 発掘調査の成果



<階段室>



<階段室>

5 おわりに